

被災屋根にブルーシートを！ 活動できる経験者募集 災害復旧職人派遣協会



石岡代表理事

被災地で損壊した住宅屋根の応急処置に取り組む（一社）災害復旧職人派遣協会（山梨県大月市猿橋町殿上630-1、石岡博実代表理事）が立ち上がった。災害時に活動できる職人を事前登録し、専門技術を持つ職人を全国各地の被災地に派遣。被害を受けた家屋の屋根にブルーシートを掛けて補強する。登録者は54人（2月28日現在）だが、今後、県内外から募集し、100人から150人程度に増やしたい考え。また、活動に賛同する企業や個人から資金を集め、職人の日当8000円から1万5000円ができる体制を構築していく。

協会設立の目的について石岡代表は、屋根の専門技能者職人として被災地現場での屋根補修の手伝いをしてきたが、「特に家屋の保護と一時的な居住確保にとって不可欠な屋根補修は遅れている。ブルーシートや木材の在庫はあるが、肝心の屋根を施工する職人は極端に少なく、支援資材も活用されず手つかずのまま」と話す。家屋補修は、損壊部分の腐食が進行し、脱落、剥離、雨水浸透などの問題が発生。手直しによる転落などの人的被害も起きているという。

生活拠点となる家屋の再建は、今後の生活設計上に

においても大変重要で、雨漏りによる居住制限の問題は大きく将来の再建計画に悪影響を及ぼすことから、協会を設立した。職人たちの中にもボランティアに参加し



「昨年の熊本地震でも尽力したい人は多いが、一人親方が多く、参加すれば経済的な損出や経済的な不安が障害となっている。」

石岡代表は、政府および自治体による専門技能者（高所作業者・大工・屋根屋・とび職）などの職人が被災地での支援稼働に参加しやすくするため「災害復旧職人派遣制度」の創設を訴える。

災害復旧職人ジャパン支援隊募集要項

- ①建築関係の仕事に従事あるいは経験のある方（板金・大工さん・高所作業経験者歓迎）
 - ②健康な方
 - ③連続して3日以上支援業務が可能な方
 - ④手当等
- 手当は一日当たり 8,000円～15,000円
食事代・宿泊→合宿制あり
交通費・現地同行案内
道具類・個人負担
災害保険あり
登録募集申込書提出